

2025年への対応方針

【2019年改訂版】

1. 基本情報

【2019年10月時点】

| | |
|-------|--|
| 医療機関名 | 医療法人 社団美心会 黒沢病院 |
| 所在地 | 群馬県高崎市矢中町187 |
| 沿革 | 1977(昭和52年)12月19日黒沢医院を開院(一般病床数7床) 1985(昭和60年)6月黒沢病院 東棟完成(一般病床数43床) 1989(平成1年)10月黒沢病院 西棟完成(一般病床数86床) 1997(平成9年)3月一般病床12床増加。98床となる。 2009(平成21年)7月黒沢病院附属ヘルスパーククリニック開院(外来を分離) 2014(平成26年)7月黒沢病院新築移転開院 脳卒中センター開設 現在(令和元年) 一般病床 100床 脳卒中センター 12床 地域包括ケア病床 18床 計130床 |

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

| | | | | | | |
|----|--------|---------|--------|-----|-----|------|
| 現在 | 合計 | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟中等 |
| | 130 床 | 12 床 | 118 床 | 0 床 | 0 床 | 0 床 |
| | 平均在院日数 | 11.5 日 | 12.8 日 | 日 | 日 | |
| | 病床稼働率 | 109.7 % | 98.2 % | % | % | |



| | | | | | | | |
|---------------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-------------|
| 将来 (2025年) | 合計 | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 廃止 | 介護保険施設等への移行 |
| | 130 床 | 12 床 | 118 床 | 0 床 | 0 床 | 0 床 | 0 床 |

2025年に向けた
病床活用の
見通し

当院は、救急を断らない姿勢を開業当初から現在まで引き継いでおり、救急車受入件数は年々増加している。また、高崎安中地域及び多野藤岡地域のみならず、前橋、伊勢崎、埼玉県北地域における脳卒中患者の緊急受入対応の必要性から、24時間365日対応の脳卒中センターを開設しました。その結果、平成25年は1,573件であった救急車は、翌年には35%増の2,135件となりました。また、脳神経外科医を5名配置し、脳卒中患者の早期治療を行っております。

今後も救急医療については脳卒中センターを中心に高度な医療を提供し、また、さらなる救急医療体制を構築するため、外科、整形外科医の配置を行い一般病床の増床を計画している。

泌尿器科では高崎安中地域で中心的な施設になるべく群馬大学泌尿器科の伊藤一人准教授を当院の院長として赴任し、腹腔鏡技術認定医を含む泌尿器科医を7名配置し、より高度な手術(腹腔鏡下悪性腫瘍手術等)や最新医療にも対応できる体制を構築させ、早期発見、適切治療につなげていきます。

また毎年11月から3月の時期には、脳卒中の救急患者が増えるが、満床でお断わりをせざるを得ない事も多くなる。よって、この地域には当院の高度急性期及び急性期病床は必要不可欠であり、急性期病床を150床にして対応していきたいと考えている。



3. 医療機能について

| | |
|------|---|
| 診療科目 | 22科 (泌尿器科・泌尿器科(人工透析)・脳神経外科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・内科・循環器内科・呼吸器内科・肝臓内科・内視鏡内科・アレルギー科・婦人科・皮膚科・美容皮膚科・リハビリテーション科・麻酔科・歯科・歯科口腔外科・放射線科・病理診断科) |
|------|---|

| | | | | | | |
|----|--------------|-------|---------|-------|--------|--------|
| 現在 | ○ がん | ○ 脳卒中 | ○ 心血管疾患 | ○ 糖尿病 | ○ 精神疾患 | ○ 在宅医療 |
| | ○ 救急 | ○ 災害 | ○ へき地 | ○ 周産期 | ○ 小児 | ○ その他 |
| | 「その他」の具体的な機能 | | | | | |



| | | | | | | |
|---------------|--------------|-------|---------|-------|--------|--------|
| 将来 (2025年) | ○ がん | ○ 脳卒中 | ○ 心血管疾患 | ○ 糖尿病 | ○ 精神疾患 | ○ 在宅医療 |
| | ○ 救急 | ○ 災害 | ○ へき地 | ○ 周産期 | ○ 小児 | ○ その他 |
| | 「その他」の具体的な機能 | | | | | |

4. 連携している医療機関について

| | | | |
|-----------|-------------------|------------|---------------|
| 主な紹介元医療機関 | 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック | | |
| 主な紹介先医療機関 | 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック | 高崎総合医療センター | 日高リハビリテーション病院 |

5. 当院の特徴について

| | |
|--------------------------------|--|
| 特徴的な 超高齢化社会に向けた高度な医療の提供 | 24時間365日対応の脳卒中センターを開設し、脳卒中患者の早期治療を行っており、センター開設に伴い、医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師を24時間配置し、緊急の検査、処置、手術にも即座に対応できる体制を構築している。各職種を常時配置していることにより救急車到着後、血栓溶解療法(t-PA療法)も一時間以内で実施出来る。(t-PA実施件数：H26年14件、H28年31件、H29年32件) 泌尿器科については、より高度な手術(腹腔鏡下悪性腫瘍手術等)や侵襲性の大きな手術、癌に対する化学療法及び最新医療にも対応できる体制を構築させ、早期発見、適切治療につなげている。 |
| 特徴的な 地域包括ケアシステムの構築 | 地域で安心して暮らせるため、高度急性期から終末期までを網羅するサポートシステムを構築するために、病院を中心に、その後の患者の在宅復帰支援体制として地域包括ケア病床を設置し、急性期医療と在宅の間で機能させ、その後の訪問診療、訪問看護ステーションに繋げ、また、後方支援として老人保健施設、特別養護老人ホーム、サ高住、介護付き有料老人ホーム等をグループ内で整備し地域包括ケアシステムの中核的役割を担うシステムを完成した。 |

6. 現状と今後の方針等

| | |
|-------|---|
| 当院の現状 | <p>当院は、良質な総合医療サービスの提供を基本理念として、地域医療の発展向上のため、地域に必要な医療へ積極的に取り組んでいます。</p> <p>特に、救急医療は医療機関の責務と位置付け、開院当初より積極的に力を入れ、地域の医療機関と連携し救急患者の受入を行っています。</p> <p>また、救急入院患者を受入れる体制として、看護師を充実させ7:1看護を取得維持し、急性期リハにも対応すべく、リハビリのエリア拡大等を行い、病院全体で人員、設備面ともに充実した体制構築に取り組んでおります。さらに急性期を担う医療機関の方向として、その意識を持って取り組むべく、同医療圏内では最初にDPC対象病院として始動し、急性期の医療機関として積極的に救急医療に取り組んでおります。</p> <p>また、東北の震災や関越道の事故などを期に当院でも更なる危機意識と、地域における当院の役割を更に認識し、大学病院の救急部医師の協力体制のもと時間外医療体制を充実させております。</p> <p>更に、高崎安中地域及び多野藤岡地域における脳卒中患者の緊急受入対応の必要性から、24時間365日対応の脳卒中センターを開設し、脳卒中患者の早期治療を行っております。脳卒中センター開設に伴い、医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師を24時間配置し、緊急の検査、処置、手術にも即座に対応できる体制を構築しております。また、平成30年度は、年間約2500件以上の救急車受入を行い、地域の医療機関や介護施設と連携して救急患者の対応を行っています。</p> |
|-------|---|

| <p>当院の未来像</p> | <p>これからの超高齢化社会に対応すべく、地域における中核病院として、泌尿器科と脳神経外科を中心に高度急性期に加えて中等症の疾患も含む急性期の治療を担っていきます。</p> <p>当院は24時間365日対応の脳卒中センターを開設しており、高崎市安中地域及び多野藤岡地域のみならず、前橋、伊勢崎、埼玉県北地域からも脳卒中患者の緊急受入を行っており、開設して4年が経過していますが年々脳卒中患者の受入は増え続けています。今後も、脳卒中患者の受入体制の必要性があると考え、脳神経外科医を5名配置し、脳卒中患者の早期治療を行っていきます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>時間外救急件数</th> <th>救急車受入件数</th> <th>脳卒中受入件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014年 (平成26年)</td> <td>2900</td> <td>1500</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>2015年 (平成27年)</td> <td>3800</td> <td>2100</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>2016年 (平成28年)</td> <td>3800</td> <td>2200</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>2017年 (平成29年)</td> <td>3700</td> <td>2200</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>2018年 (平成30年)</td> <td>3800</td> <td>2500</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>泌尿器科では高崎安中地域で中心的な施設になるべく群馬大学泌尿器科の伊藤一人准教授を当院の院長として迎え、また腹腔鏡技術認定医を含む泌尿器科医を7名配置し、より高度な手術（腹腔鏡下悪性腫瘍手術等）、癌に対する化学療法及び最新医療にも対応できる体制を構築させ、早期発見、適切治療につなげていきます。</p> | 年 | 時間外救急件数 | 救急車受入件数 | 脳卒中受入件数 | 2014年 (平成26年) | 2900 | 1500 | 100 | 2015年 (平成27年) | 3800 | 2100 | 250 | 2016年 (平成28年) | 3800 | 2200 | 300 | 2017年 (平成29年) | 3700 | 2200 | 300 | 2018年 (平成30年) | 3800 | 2500 | 400 |
|---------------------------------|--|---------|---------|---------|---------|---------------|------|------|-----|---------------|------|------|-----|---------------|------|------|-----|---------------|------|------|-----|---------------|------|------|-----|
| 年 | 時間外救急件数 | 救急車受入件数 | 脳卒中受入件数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2014年 (平成26年) | 2900 | 1500 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2015年 (平成27年) | 3800 | 2100 | 250 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2016年 (平成28年) | 3800 | 2200 | 300 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2017年 (平成29年) | 3700 | 2200 | 300 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2018年 (平成30年) | 3800 | 2500 | 400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>その他 (県民・受診者へのメッセージ等)</p> | <p>私達は、地域の皆さまが、住み慣れた街で安心して暮らせるように、泌尿器科、脳神経外科を中心として、高度急性期及び急性期医療を担っていく。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |